

科目名	障害児保育演習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	2	2	前期			
担当者名	岡本 実	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や幼稚園、児童発達支援センターなどにおける障害児保育の意義を知り現状を把握する。 ・ 障害をもつ子どもの援助法や指導法について、具体的かつ実践的に学習する。 							
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害をもつ子どものライフステージを知り、ライフステージの各段階における支援や社会資源を理解する。 ・ 幼児期の支援－障害児保育－の現状と課題について理解し、関係機関との連携や家族への支援、地域への参加について学ぶ。 ・ 発達期の障害（発達障害）に関する基礎的な理解をもち、発達障害児の保育指導、発達支援についての知識と技術を習得する。 				成績評価方法 受講態度、提出物、試験などにより総合的に評価します。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション				障害についてのディスカッション			
演習の概要、発達障害とは、主な発達障害、障がいについて考える							
2) 障害児（統合）保育の歴史と現状、課題				障害児保育を支える理念についてのディスカッション			
障害児保育を支える理念、障害児保育の制度と課題							
3) 関係機関との連携と保護者支援				グループワーク：手記から親の心情の理解と援助を考察			
関係機関との連携、親の心情を理解する、保護者支援の実際							

4) 小学校との連携と就学指導	就学指導についてのディスカッション
障がいのある児童の教育の歴史, 特別支援教育とは, 就学指導	
5) 障害児保育の実際	
保育所や児童発達支援センターにおける障害児保育の実際	
6) 知的障害の理解と援助	
主な知的障害と配慮事項 (ダウン症候群を中心に)	
7) 自閉症スペクトラム障害の理解と援助①	自閉症の障がい体験とディスカッション
自閉症の研究史と現在の自閉症理解, 障害の特徴と配慮事項	
8) 自閉症スペクトラム障害の理解と援助② (グループワーク)	自閉症児のストレングスに着目した支援ツールの作成
TEACCH に学ぶ, 自閉症支援の基本原則, 支援ツールの作成	
9) てんかんのある子どもの理解と援助	
てんかんの定義と分類, 生活指導, てんかん発作時の対応	
10) 運動障害の理解と援助	
運動障害の分類, 主な運動障害と配慮事項	
11) コミュニケーション障害の理解と援助	
コミュニケーション障害とは, 主なコミュニケーション障害と配慮点	
12) 障害をもつ子どものアセスメント (グループワーク)	発達検査の実施と検査結果の解釈 (グループワーク)
アセスメントとは, 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法の実施	
13) 障害をもつ子どもの生活指導	
生活指導の視点, 障がいの特性に応じた生活指導のポイント	
14) 障害をもつ子どものコミュニケーション指導 (グループワーク)	保育計画の作成 (グループワーク)
事例をもとに障害児保育の計画を考える	
15) まとめ	
授業外学習	
適宜配布する予習課題 (ワークシート) に取り組んだうえで授業に臨むこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新: 障害のある子どもの保育実践」水田・増田編著 (2014) (学文社) 参考書はその都度紹介します	障害者福祉、障害児の発達援助法
備考	
意欲的に取り組むこと、配布資料は必ずファイルしておくこと。	